

生徒厚生委員会だより

担当者 3年5組 矢作実羽

皆さんは、感染症と聞いて何を思い浮かべますか？

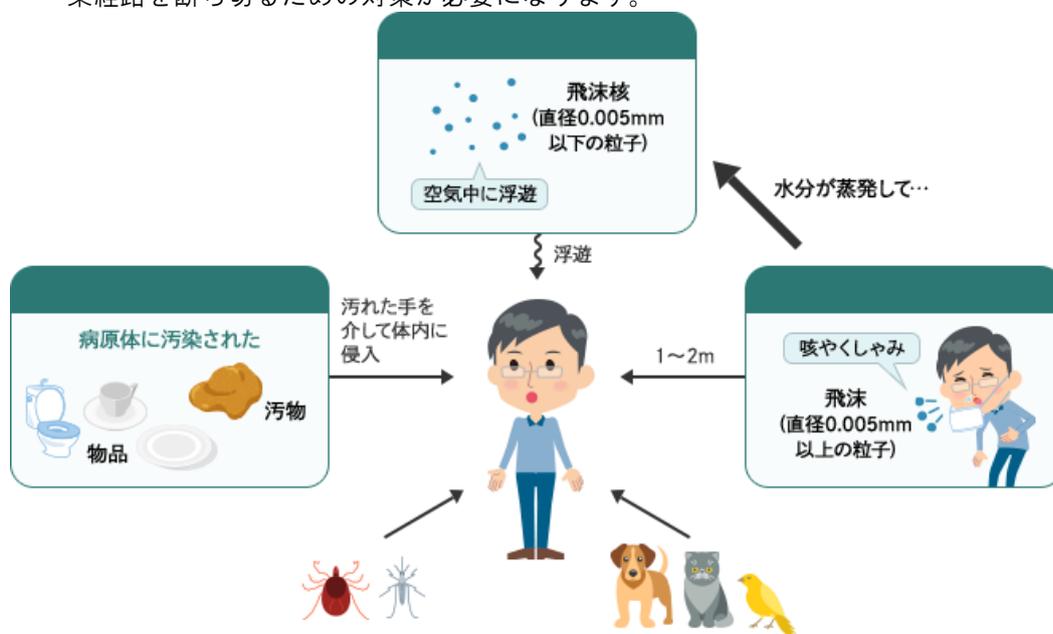
代表的なものとしてはインフルエンザや新型コロナウイルス感染症などがあると思います。改めて感染症について見直してみましょう。

1 感染症について

ウイルスや細菌などの病原体が体内に侵入して増殖し、発熱や下痢、咳等の症状がでることをいいます。感染症には、インフルエンザのように人から人にうつる感染症のほかに、破傷風や日本脳炎のように人から人にはうつらず、傷口から、あるいは動物や昆虫から、感染する感染症も含まれています。感染して発病する場合もあれば、ほとんど症状がでずに終わってしまう場合もあります。また、一度症状がでるとなかなか治りにくく、時には死に至るような感染症もあります。

2 感染経路について

感染症によって、病原体の体内への侵入方法が異なります。大きく2つに分類すると、人からうつる感染症と、人以外からうつる感染症があります。人からうつる感染症には、「接触感染」「飛沫感染」「空気感染」の3つの経路があり、感染症を予防するためにはそれぞれにおいて感染経路を断ち切るための対策が必要になります。



3 感染症対策

(1) 手洗いの励行

わたしたちの手は、さまざまな感染症を運んでいるのです。あなたが手を洗うことで、手についた病原体があなたのからだに侵入するのを防ぐだけでなく、周りのひとに感染を拡げることを防ぐこともできるのです。手洗いは、日々の生活の中でできる、きわめて有効な感染対策です。

(2) マスクの着用

咳やくしゃみによって、細菌が浮遊し感染します。マスクを着用することも有効な感染対策となります。

(3) ワクチンの接種

感染症にはワクチンで予防できるものがたくさんあります。ワクチンをうつと、あなたのからだはその病原体に対して免疫を獲得します。そうすると、その病原体がからだに侵入しても、病気にならない、または病気になっても症状が軽くすむようになるのです。

引用・参考文献

<https://amr.ncgm.go.jp/general/1-6-3.html>